

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和5年度 第8回佐渡市公共施設あり方検討会議
開催日時	令和6年2月20日(火) 18:30~20:30
場所	佐渡市役所本庁 2階 大会議室
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>1) 議論の進め方(説明)</p> <p>2) エリアベースでの検討・考え方の整理</p> <p>3) その他</p> <p>3 閉会</p>
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、 その理由)	公開
出席者	<p>《公共施設あり方検討委員》(12名)</p> <p>《市役所》(3名)</p> <p>・事務局 財産管理課長 齊藤 昌彦</p> <p>財産管理課課長補佐 若林 昭宏</p> <p>財産管理課公共施設適正化推進係主任 中川 英幸</p>
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	1人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>1) 議論の進め方 (資料 01 により説明)</p> <p>2) エリアベースでの検討・考え方の整理</p> <p>【グループワーク】</p> <p>I. グレーの施設を中心に議論（機能の引き受けの模索）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題（問題） →赤色付箋 ・提案（改善策）→青色付箋 <p>II. 施設議論の手法についての課題と改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアで区切って話し合うことの難しさ ・より意見が出やすくする方法 ・これまでの議論の手法の課題と改善策 <p>【A 班】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ふすべ村体験学習施設 <ul style="list-style-type: none"> ・民間譲渡がよいのではないか。ただし担い手が見つかるかは課題。 ● 小木多目的集会施設「あゆす会館」 ● 南佐渡総合案内所（マリンプラザ小木） <ul style="list-style-type: none"> ・小木の類似するホール機能を1つに集約することで考えた。 マリンプラザ小木は観光案内の面で非常に立地もよいが、ホールは2階にありエレベーターもなく階段のみで高齢者が利用するには厳しい。 あゆす会館の方がホールは広く1階でもあるため、あゆす会館を白とした。 ・マリンプラザ小木の観光案内機能は、佐渡汽船小木港ターミナル内に設置できないか。 ● 羽茂農村環境改善センター <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校体育館のほか高校体育館も近隣にあり、ホール機能は体育館で代替可能ではないか。 ・小木や赤泊の施設で賄えるものもあるのではないか。 ● 赤泊自然休養村管理センター <ul style="list-style-type: none"> ・サンライズ城が浜が近隣にあり、宿泊利用者も多いので、宿泊機能を引受けしてもらおうほうがよい。 ・ホールは冠婚葬祭で主に使用しており、機能は赤泊総合文化会館で代替可能ではないか。 ● 赤泊農林漁業体験宿泊施設「サンライズ城が浜」 <ul style="list-style-type: none"> ・収支は指定管理料ありきであるが、民間に移譲したほうが上手く活用できるの

ではないか。

● 松ヶ崎総合センター

- ・地域で集まれる場所も少なく残した方がよいという意見もあったが、小中併設校が近くにあり、空き教室等で機能を賄えるのではないか。

● 施設議論の手法についての課題と改善策

- ・地元施設は愛着があり、鼻根目でみてしまうため残す方向で考えてしまい、施設の削減を行うには、地元以外のドライな意見も必要。
- ・検討するにあたって、エリアの範囲が難しい。
- ・自分が利用したことがない施設について、議論することは難しい。
- ・延床面積 30%減を目標に議論を行ったが、金額ベース等の違う視点でわかりやすいゴールを設けてもよいのではないか。
- ・誰（どの世代）を中心に考えるべきか。これから佐渡を担っていく若い世代なのか、多数を占める高齢者の意見も聞く必要もあり非常に難しい。
- ・エリアを絞り、地域をよく知る人に議論してもらったほうがよい。

【B班】

● ふすべ村体験学習施設

- ・民間譲渡すべきでないか。

● 小木多目的集会施設「あゆす会館」

● 南佐渡総合案内所（マリンプラザ小木）

- ・ホール機能は、あゆす会館で賄えるのではないか。
観光案内機能は、佐渡汽船や行政サービスセンターで引受け可能でないか。

● 羽茂農村環境改善センター

- ・ホール機能は南佐渡中学校体育館で賄えるのではないか。
貸館、図書室、調理室機能は、羽茂支所で賄えるのではないか。
- ・学校調理室を使う議論も上がったが、生徒の安全面が課題。
2～3階を生徒が使用、1階だけを開放するなど学校教室の使い方を考えれば上手くいくのではないか。

● 赤泊農林漁業体験宿泊施設「サンライズ城が浜」

● 赤泊自然休養村管理センター

- ・宿泊機能は、サンライズ城が浜で賄えるのではないか。
- ・ホール機能は、赤泊総合文化会館で賄えるのではないか。
- ・サンライズ城が浜が宿泊機能を引受け民間譲渡とすれば、やり方次第で利益を上げられるのではないか。

● 赤泊体育館

- ・近くの赤泊中学校体育館で賄えるのではないか。

● 松ヶ崎総合センター

- ・廃止の方向でも検討したが、毎週水曜日に診療所で使用していることもあり、廃止は難しいと判断した。

- 施設議論の手法についての課題と改善策
 - ・施設を実際に見て、老朽化具合等を確認したかった。
 - ・地図上での議論は、エリアを佐渡全域にした方が色々な施設の扱いを議論できたのではないか。
 - ・施設利用状況共有アプリがあれば、利用状況も変わってくるのではないか。

【C班】

- 全体
 - ・産業関連施設は、原則民間移譲が望ましいのではないか。
 - ・譲渡だけでなく貸与の考え方も必要。適切な対価を得つつ、場合によっては修繕費の一部を借主に負担してもらうことで、市の支出を抑えることも必要でないか。
- 松ヶ崎総合センター
 - ・地域の人口が少ない割に利用者数が多く、近くに代替施設もないことから、地域の拠点と考え残すべきものと判断した。
- 赤泊農林漁業体験宿泊施設「サンライズ城が浜」
 - ・産業関連施設であり、民間譲渡すべきではないか。
- 赤泊自然休養村管理センター
 - ・主に葬儀場利用であり、羽茂などの葬儀施設を利用するか、民間葬儀事業者に有償で貸与することもできないか。
- 羽茂農村環境改善センター
 - ・近隣に学校施設があり、空き教室もあるので活用ができないか。
図書室機能は支所へ移転してもよいのではないか。
- 小木多目的集会施設「あゆす会館」
- 南佐渡総合案内所（マリンプラザ小木）
 - ・類似するホール機能を1つに集約すべきものとし、機能が充実しているあゆす会館を残すべきではないか。
 - ・観光案内機能は、佐渡汽船小木港ターミナル内に設置できないか。
- ふすべ村体験学習施設
 - ・産業関連施設であり、まずは民間移譲を考える。
また、相川技能伝承館と類似する施設であるため、一部でも機能移転を行い、廃止もしくは民間譲渡ができないか。
- 施設議論の手法についての課題と改善策
 - ・資料だけでは使用目的が分からず、議論するには非常に難しかった。
 - ・地域の実情を知っていることでできる考え、知らないがゆえできる考えがある。どちらの考えも正解で異なる意見を持つ人もおり、逆に良い議論であった。

ファシリテーター

例えば、赤泊休養村管理センターは建物として大きいですが、いつか壊す時に莫大な費用がかかる。それも踏まえ、引き受ける民間企業はあるのだろうか気になる。

A 委員	赤泊休養村管理センターは、引き受け手がいない結論であり、有償で貸し出すことで佐渡市の支出を抑えられるのではと考えた。
B 委員	規模が大きければ大きいほど、譲り受ける側の負担が大きくなる。マンションのように1教室単位など小刻み譲渡できないか。
ファシリテーター	施設の廃止の議論だけでなく有効活用の議論でもあり、固定観念を外したアイデアが出る工夫が必要。もっと斬新な施設の使い方、複合化の形があるのかもしれない。
B 委員	学校活用で1階を他機能と共有する意見もあったが、今まで考えたこともないことで色々な可能性を感じた。
アドバイザー	<p>3グループとも似たような結果で、少し意見が分かれたのが松ヶ崎エリアぐらい。グレーの施設もある程度、議論を重ねていくと、途中段階で一定の考え方に収斂していくところがあると感じた。</p> <p>その中のポイントとして、黒になった施設は、廃止若しくは民間譲渡であり、廃止したら機能が無くなるが、民間譲渡では機能が高まり残っていく可能性があり正反対の意味合いとなる。そのため民間譲渡が理想ではあるが、中々民間の受け手もないことから、民間が受けやすい形を考えていく方向性もあると思う。民間譲渡は営利企業にすべてを任せる発想になりがちだが、民間の民は市民の民でもあり皆で協力することで、民間中心で成り立ちやすい手法を考えていくと面白いのではないか。</p> <p>地元で愛着があり、中々廃止しにくい意見もあったが、愛着を上手く生かし施設を残す工夫を考えることも必要。</p> <p>民営化・民間譲渡と合わせて、市民がどのように協力していけるかを併せて考えていくと可能性が広がる気がする。</p> <p>やはり学校の活用がポイント。例えば今回の議論でも学校を上手く活用することで機能を残せる可能性がある。松ヶ崎総合センターは行政機能があるため廃止が難しく思われるが、行政機能と学校の複合化はありうるのではないか。事例は聞いたことはないが、学校の中に行政機能もありうることで、前例や常識に捕らわれず考えるとこの枠組みも考えられる。</p> <p>羽茂環境改善センターは、調理室や図書館機能が学校へ複合化できれば廃止も可能かもしれない。図書館機能や調理室機能を具体的に学校の中で複合化させ、児童生徒の安全を確保しつつ、市民も利用できるようにするにはどうしたらいいかという意見があったが、学校の敷地や建物を確認しながら具体的にできることを議論していき、新しい地域の拠点としての複合的な学校施設のあり方を、佐渡市モデルあるいは地域モデルとして作っていければよいと思う。</p> <p>地図に色々な情報を落としてもらいすぐわかりやすい。これ程具体的にし、分かりやすく市民の議論を進めている事例はあまりないと思うくらい素晴らしい</p>

ファシリテーター	<p>ワークショップの内容になっていると思う。しかし、地図上での議論には、そろそろ限界が来ている気がする。もっと地域をよく知る人が入り、一緒に議論していくことで次の段階に進む時が来ている。今後は現地に赴き、現地の人にも参加してもらい、より現地に即した具体的な議論に愈々入っていく必要がある。</p> <p>学校も色々な機能を充実させることで、地域の特性や人数に合わせた形がありうる。地域の人が学校へ入ることで、より安全になる考えもあり、いくつかモデル的な地域が出てくると面白い。</p> <p>3) その他 次回の会議日程について ・3月20日(祝・木)開催予定とする。</p> <p>3 閉会 (齊藤財産管理課長より閉会の挨拶)</p>
----------	---